

教 科	芸 術	科 目	美術 I
履修条件 対象生徒	必修 デザイン科 1 学年		
学習目標	・描画材（鉛筆、練りゴム等）の使い方を理解し、表現活動の基本となる観察力、描写力、表現力を身に付ける。 ・造形的な視点について理解を深め、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表す。 ・自他の作品の鑑賞を通して、互いの良さを認め合う態度を身に付ける。		
学習方法	[授業] 素描を通して観察力を養い、構図・形態・空間・明暗の調子の捉え方を学習する。習熟度によってモチーフの数量や質感を発展させ、応用力を身に付ける。課題ごとに全員の作品鑑賞をする。 [家庭学習・補習・その他] 授業に計画的に臨み、時間内に集中して制作するため、家庭での課題は設けない。		
学習計画 と ねらい	<1 学期末考査まで> 1 鉛筆素描 (1) 鉛筆の使い方・削り方 (2) グラデーション (3) 幾何形体 2 平面デザイン (1) 絵具の使い方・平塗 (2) レタリング <2 学期末考査まで> 3 絵画表現 (1) 水彩表現・構図 (2) 植物着彩 4 エッチング <学年末考査まで> 5 彫刻(生物を空想しあらわす) (1) 構造観察 (2) 骨組み (3) 肉付け・質感追及 (4) 着色 6 まとめ・鑑賞 ○デッサンに適した鉛筆の削り方を習得する。 ○鉛筆の種類や扱い方について学習する。 ○量感と空間、正確な形態の把握と構造の理解 ○絵具の特性や道具の扱い方について学習する。 ○画面を美しく構成するための平塗の技法を習得する。 ○作品制作で用いられる様々な絵画的表現や構図について学習する。 ○植物の構造を造形的視点から観察する。 ○エッチング技法やハッチング技法を習得する。 ○実際の生き物の構造や生態について造形的視点をもって観察する。 ○粘土の特徴を理解し工夫して表現に活用する。 ○アニメーションや江戸絵画を鑑賞し、デフォルメによる表現を理解する。 ○鑑賞会を通して、対話型鑑賞法を学ぶ。		
評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表現する技術を身に付けている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。
評価方法	授業態度や提出された作品やレポートの内容等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出する。		
その他	1 クラス全員で学習する。		